

「深夜はいかい」は、様々な問題行動の入口！ 子どもは家庭が一番！親子で居場所作りをしよう！

飲酒

喫煙

交通事故

性被害

薬物乱用

家出

事例紹介「家出から性風俗に斡旋された事例」（平成30年生徒指導の手引きより）

深夜はいかいを繰り返し、警察に何度も補導されていたA子は、学校も欠席が続いており、学校からの指導を何度も受けていた。親や学校からうるさく言われ続けることに嫌気がさしたA子は、神待ちサイト（家出した子を泊めてくれる場所を提供してくれる人をネット上で”神”と呼ぶことがある）で知り合った成人男性Bにアルバイトを紹介され、家に帰らなくなった。

Bから携帯電話を渡され、「ずっと泊まっていいから、この電話にお客さんから電話がかかってくたら、〇〇〇と答えてくれるだけでいい。」という簡単なアルバイトであることを説明され、それがエンコーの仲介みたいな仕事であったにもかかわらず、「自分がエンコーするわけでもないし」「泊まる所もあるし、その上バイト代ももらえる」と考え、そのアルバイトを引き受けてしまった。

何度も仲介の仕事をしていくうち、A子は次第に感覚が麻痺して「悪いことをしている」という感覚が薄れていった。やがてBから、「もう少しバイト代稼いでみない？」との誘いが・・・



●「家～なれ～運動」実施中！

- 沖縄県では、「家～なれ～運動」を推進しています。家庭でのしつけや習慣が、外に出たときのかがみになるよう「や～なれ～る ふ～かなれ～」を実践していきましょう。
- 「基本的な生活習慣を身につけましょう」
- 「家族のコミュニケーションを大切に」
- 「家族のルールを話し合おう」
- 「家庭学習の習慣を、家庭を学びの環境に！」

●在宅確認と酒類の管理を！

- 夜間における子どもの在宅確認をお願いいたします。
- 子どもの集団飲酒は、家庭にある酒類の持ち出しが目立ちます。（自宅にある酒類の管理徹底を！）
- キャンプや宿泊を伴う野外活動や海水浴等は、必ず保護者等による協力のもとで行ってください。



ネットやスマホ等を介する問題が増加中！

自撮り・性被害！誹謗・中傷！薬物乱用！詐欺行為！依存症！

※「自撮り被害」とは、だまされたり、脅されたりして児童生徒が自分の裸体等の写真を、メール等で送られる被害のことをいいます。

●子どもをネット被害から守るための、保護者ができる3つのポイント

- ① 子どもの利用状況を把握し、適切にインターネットを利用させる。
- ② 子どもに持たせる機器には、フィルタリングを設定する。
- ③ 利用時間や家庭のルールを子どもと一緒に作る。

主な相談機関

親子電話相談「子育てダイヤル・子ども相談」 098-869-8753

子ども若者みらい相談プラザ「sorae」 098-943-5335

性犯罪被害者相談電話 #8103 または、0120-656-110